

平成27年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道473号 金谷相良道路Ⅱ

照会者: 一般国道473号金谷相良道路Ⅱの受益者17名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	地域が発展する上で、道路整備は欠かせない。菊川インターチェンジがフル化されることで、掛川方面から空港・御前崎方面へのアクセスが格段に向上する。富士山静岡空港には中国・東南アジアからの旅行者も増え、地域活性化のため空港へのアクセスを向上させることは非常に重要。	富士山静岡空港における旅客・貨物取扱量も増加しており、空港へのアクセス向上への期待が高まっており、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	菊川地区は、国道1号と国道473号が接続する重要な交通の要所となり、菊川地区の旧東海道や諏訪城址など歴史文化資産をPRするいい機会となるため、早期の完成を望む。	周辺地域の観光促進へ寄与するものであるため、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	防災拠点となる富士山静岡空港へのアクセスを向上させる道路であるため、早期完成を望む。	富士山静岡空港は、防災拠点としても重要施設であり、空港へのアクセス向上に資するため、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	今回の道路整備は、地域の発展、富士山静岡空港の利用率の向上につながる。バイパス整備により、生活道路の大型車交通量減につながることから、沿線の生活環境の向上に資する。	整備により、現道の交通量がバイパスへ転換され、沿線の生活環境の向上に資するため、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	用地取得が8割以上進んでいる状況であり、先送りしても意味がない。早期整備を望む。	用地取得を前進させ、早期完成を目指し事業を推進する。
6	事業継続を要望	志太榛原地域にとってインパクトを与える事業であり、早期整備が必要。関連事業である島田金谷バイパスなどと連携することで更なる効果が期待される。	国の進める国道1号4車化との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	地域が発展する上で、道路整備は欠かせない。通過するだけでなく、立ち寄ってもらえるような取組が必要。大井川右岸地域(初倉～金谷～川根)の発展を考える上で、国道473号の整備の他に、県道住吉金谷線(二軒家バイパス)の整備と国道473号地蔵峠バイパスの整備が欠かせない。	国道473号地蔵峠でのバイパス整備を今後も推進していく。近年、奥大井地域の観光客も増加していることから、関連事業の推進とともに、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	静岡空港のアクセス向上、道路網整備のためにも、整備を進めてほしい。また、金谷～菊川地区の旧東海道史跡へ訪れる人には、便利になる。	新東名と東名間のアクセスが向上するため、観光面を支える意味においても、早期の完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	関東圏からの観光客の入込増のため、中部横断道・新東名と接続する道路網として、整備を進めてほしい。	今後も、新東名への接続を見据え、まずは、当該区間の早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	現道の渋滞解消や国道1号を利用した運送について4車化と併せた効果は大きい。また、トラック協会は災害時の緊急物資輸送協定を締結しており、空港アクセスの向上が必要と考えており、早期の整備を要望する。	災害時の緊急輸送路としての機能を最大限発現させるためにも、当該区間の早期完成を目指して事業を推進する。
11	事業継続を要望	国道1号との接続により、利用者の交通円滑化や空港以西の需要拡大につながることから、早期の整備を要望する。	国の進める国道1号4車化との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
12	事業継続を要望	本道路は地域の一体化、発展に必要である。	近年、金谷御前崎連絡道路付近の工業団地が完売するとともに、新規企業の進出もあり、物流需要への高まりからも、早期完成を目指して事業を推進する。

平成27年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 道路改築事業

箇所名: 主要地方道 吉沢金谷線

照会者: 自治会関係者13名(菊川市倉沢地内)

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	吉沢金谷線が下倉沢入口まで既に開通し、今回倉沢地内 が、予算的に半分か、全線できるか問題である。 早く予算が確保でき、富士山静岡空港へのアクセスができれば倉沢の地名も良い方向になるかも、関係各位様よろしく お願いします。	本事業箇所の整備により、円滑な交通の確保が期待できるため、今後更なるコスト縮減と予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	・道路幅が狭く通勤・通学時の事故防止 ・歩道(路側帯)が狭く危険な為 ・大型車の通行や車両の走行スピードが速く重大な事故に繋がる恐れがあります。 等々、地元住民の安全の為に早期実現をお願いします。	狭隘ですれ違いが困難な状況及び道路線形が改善され、生活道路としての機能向上に繋がるため、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	用地買収もほぼ終了している中で、事業を見直す必要はない と思います。ただし、どうしても必要な案件については、一部見直し等が必要になると思います。	早期完成を目指して事業を推進する。 なお、事業が円滑に進捗するように、現場状況の把握を今以上に努め、必要に応じて、適切な見直しを行う。
4	事業継続を要望	道幅が広がれば、車両・歩行者が安全に通行できるので。	狭隘ですれ違いが困難な状況及び道路線形が改善され、生活道路としての機能向上に繋がるため、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	道路が狭いため児童の通学等の安全のため	狭隘ですれ違いが困難な状況及び道路線形が改善され、生活道路としての機能向上に繋がるため、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	現状、見通しが悪いところがあり、対向車がスピードを落とさず真ん中を走ってくるので怖い。 また、家から県道に出る際、歩きでも車で出る時も、走る車がギリギリをくるので危険である。 道幅が広がり、歩道もつけばありがたい。	狭隘ですれ違いが困難な状況及び道路線形が改善され、生活道路としての機能向上に繋がるため、早期完成を目指して事業を推進する。 なお、本事業により歩道を整備するので歩行者と自動車の分離ができ、事故の危険性は下がるものと考えている。
7	事業継続を要望	車両、歩行者の安全のため、早期着工、完成をお願いします。 道路拡幅に伴い歩道部分及び側溝の設置もお願いしたい と思います。	早期完成を目指して事業を推進する。 なお、本事業により歩道及び側溝の整備を行う。
8	事業継続を要望	道幅が狭く、朝、また、交通量が多いので、早く事業をしてもらいたいです。 上り、下りが多くカーブもきついため畑作業をしても危険を感じる時が多い。	狭隘ですれ違いが困難な状況及び道路線形が改善され、生活道路としての機能向上に繋がるため、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	朝通勤時間帯、車が多く怖い思いをしたので、2車線にしてほしい。	早期完成を目指して事業を推進する。 なお、本事業により車道幅員5.5m(2車線)の整備を行う。
10	事業継続を要望	道路幅が狭く、子供の通学時間帯は車の量も多いので、道路幅を広くしてセンターライン、歩道の設置が必要です。 また、道路の排水処理をお願いします。	早期完成を目指して事業を推進する。 なお、道路の排水処理については、現場状況の把握を今以上に努め、適切な処理を行う。
11	事業継続を要望	河城地区センター前を通るバイパスができて大変便利になった。一方で朝夕の交通量が大幅に増加したのでは是非歩道を整備してほしい。 学童の通学が危険であり、自宅前の県道も猛スピードで走る車が多く恐ろしく感じる。	早期完成を目指して事業を推進する。 なお、本事業により歩道を整備するので歩行者と自動車の分離ができ、事故の危険性は下がるものと考えている。
12	事業継続を要望	交通量も多いし、子供の通学等においてもあぶない。 歩道もないし、道が広くなれば、事故の心配もなくなると思う。 事業継続と早期の実現を願います。	早期完成を目指して事業を推進する。 なお、本事業により歩道を整備するので歩行者と自動車の分離ができ、事故の危険性は下がるものと考えている。
13	事業継続を要望	今まで歩道がなく子供達が通学路を変えて通学していたので、ぜひ早く完成させてください。	早期完成を目指して事業を推進する。

平成27年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 総合流域防災事業
 箇所名: 一級河川 境川
 照会者: 三島市玉川、平田地区及び清水町久米田地区の住民

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	三島市玉川、平田地区や清水町久米田地区を浸水被害から守るため、引き続き事業の継続を要望する。	住民の不安の早期解消に向け、今後も計画的かつ遅滞なく事業を進めていく。
2	事業継続を要望	台風時に新橋付近が冠水し、非常に危険であるため早期の工事着工を望む。	引き続き、関係市町や地域住民の方々と協力しながら、早期の工事着手を目指して事業を推進する。

事業名: 火山砂防事業
 箇所名: 夏加沢
 照会者: 被害想定区域内の住民36名

担当課: 砂防課

1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然豊か」ということは、自然災害と切っても切れないことだとは思いますが、安心・安全に暮らしていくには、この砂防事業は、不可欠なものと感じています。中断されることなく工事を進めていただきたいと心から思います。 ・雨が強く降った時は、いつも山を眺めています。危険な箇所は工事をお願いします。 	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
---	---------	--	--

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業
 箇所名: 金山
 照会者: 被害想定範囲内の住民14名と地権者

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会の時の話しより、かなり工事が遅れているように思います。一日も早い完成を望みます。(災害が発生する前に…) ・早く事業が進まなく中断しているので風や大雨の時不安でたまりません。 	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業
 箇所名: 長沼五郎松
 照会者: 被害想定範囲内の住民15名と町内会長1名

担当課: 砂防課

1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> ・私宅の裏山の整備は来年になるのでしょうか。こちらも早く進めてほしいと思います。 ・できるだけ早く完成していただきたいです。 ・墓側の工事着手を早めてほしい。 	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
---	---------	---	--

事業名: 下田港 防災・安全交付金事業
 箇所名: 下田市 外ヶ岡 地先
 照会者: 伊豆漁業協同組合下田支所

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	金目船の利用する物揚場を増設することで、更なる漁業活動の振興を図ることができる。そのため事業の早期完了を要望する。	早期完成を目指し計画的な事業推進を図るとともに、部分的に完成したところから暫定供用を開始するなど事業効果の早期発現を図る。

平成27年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 海岸(高潮)事業
 箇所名: 沼津港海岸
 照会者: 海岸(高潮)事業の受益者12名

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	住民や働く人の人命のために継続し早期完成をお願いしたい。	東日本大震災による津波被害の知見を踏まえ、策定した静岡県第4次地震被害想定とその対策を定めた静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013により、引き続き想定される被害をできる限り軽減する施設整備を推進する。最大級の津波に対しても施設整備による減災効果と避難を組み合わせた多重防衛により海岸や港で働く人々の命を守る。
2	事業継続を要望	内港で仕事をしています。人命に関わるので早期完成をお願い致します。	
3	事業継続を要望	安心して働きたいし、少しでも住みやすくなるならば、できることはするべきと思います。	
4	事業継続を要望	事業を継続し早期に完成してもらいたい。特に狩野川の河口部分は7.4mの津波が押し寄せ防潮堤を越えることが予想されます。	
5	事業継続を要望	地震・津波被害を考えると事業継続は必要だと思います。	
6	事業継続を要望	港湾は津波のイメージが強いので海岸工事を強化してほしい。生活に支障が無いように工事してほしい。	
7	事業継続を要望	人命に関わる事業なので継続し早期完成をお願いしたい。優先して事業費を増やしてもらい早期完成をさせていたきたい。	
8	事業継続を要望	人命に関わることなので継続し早期完成をお願いしたい。	
9	事業継続を要望	地震は何時発生するか判りません。沼津港には年間200万人以上の観光客等が訪れています。また住んでいる人、働いている人もいます。人命・財産を守る事業なので継続し、早期完成をお願いします。	居住者だけでなく、津波浸水域にいる全員の命を守るため、浸水深や浸水域の減少、津波到達時間を引き延ばす等の減災が期待される施設整備を行い安全・安心な港づくりを推進する。
10	事業継続を要望	地方卸売市場として関わる企業、従業員及び年々増加している観光客等の安全を守るためには優先すべき事業と考えられます。可能な限りの工期短縮を希望します。	
11	事業継続を要望	観光客等人が集まる港なので事業を継続し、安全な港づくりを早急をお願いしたい。	
12	事業継続を要望	人が集まる港なので事業を継続して安全な港にしてもらいたい。途中でやめてしまっは意味がないと思う。	

平成27年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料7

事業名:	街路整備事業
箇所名:	都市計画道路沼津三島線
照会者:	街路整備事業の受益者 10名

担当課:街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	早く開通させてほしいです。	本区間の整備により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	開通すると交通の便が良くなるため。	本区間の整備により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	開通すれば便利になるため。	本区間の整備により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	・便利になるから。 ・姿がみえているので早く完成がみたい。	本区間の整備により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	長い間進展しない現場が気になっていました。見直し、中止いずれにしても予算のいることでしょうか、それならば継続して早目に完成していただきたい。	本区間の整備により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	中央通から旧246まで通じる道路が細く、車のすれ違いもままならず、危ないため、1本、道路が通れば便利になると思われる。	ご意見のとおり、東西幹線道路である本路線が開通することにより利便性が向上することから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	東名沼津より下り三島駅までの道は欲しい。	本路線の全線開通により三島駅までのアクセス道路が完成するが、未着手区間が存在するため、関係市町と連携し整備推進に向けて努めていく。
8	事業継続を要望	・長い期間、中途半端な状態になっている。 ・協和発酵キリンから三島方面にぬける道は、細いわりには交通量が多いので広い道が出来れば通学、通勤時も安全に歩行する事が出来る。	本区間の整備により、交通の円滑化が図られ利便性が向上するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	・この道路が完成することで竹原本宿線の交通量の緩和が期待できる。 ・ここまで完成している道路なのでいつまでも通れず放置されていることがもったいない。なるべく早く完成してほしいと思う。	本区間の整備により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。

平成27年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料7

事業名: 街路整備事業

箇所名: 都市計画道路谷田幸原線

照会者: 街路整備事業の受益者 16名

担当課: 街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・幹線道路へのアクセスが少なく、現道の幅員も狭小であるため不自由している。(幅員が狭い割に交通量も多いため歩行者は危険) ・周囲で行われている都市計画道路と繋がることによって広域な交通体系が成立すると思います。	本路線の整備により、交通の分散が図られ生活道路の安全性が向上するとともに広域的な道路網が確立できることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	三島駅北口や長泉町へ行くのに便利になる。	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	・県道の渋滞解消のため。 ・早期の供用をお願いします。	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	・三島駅へのアクセスを良くするには必要な道路だと思います。 ・(質問)徳倉橋は広くなりますか？	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。なお、当該事業では徳倉橋の拡幅は行いません。近隣住民の事業に対する理解を深めるため事業周知を手厚く行ってまいります。
5	事業継続を要望	・県道三島裾野線の朝夕の渋滞の解消が期待できることや三島駅北口に行きやすくなる。 ・既存の道路の使い勝手が悪くなることは避けてほしい。	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。事業施行にあたり、(都)谷田幸原線の周辺道路の管理者と協議を密にし、使い勝手の良い道路となるよう配慮する。
6	事業継続を要望	交通が便利になるなら良いと思う。	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	早期完成を望む。	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	幸原町地区については、事業が進んでおり、生活道路の向上のためにも早期開通を望む。	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	・道路は前後が繋がって初めて道路としての機能が果たされると思うので、事業を早く進めてもらって、使えるようにしてほしい。 ・各自、個人的な問題があって、早く事業に協力したいという希望者が多くいた場合、予算の関係もあると思うが、希望に沿うような買収の方法は取れないか？(早期完成に繋がる)	本路線の整備により、交通の分散が図られ生活道路の安全性が向上するとともに広域的な道路網が確立できることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。事業協力者の希望に沿うよう、事業を推進する。また、希望時期に予算が確保できない場合は、ただちに説明を行うなど地元と連携していく。
10	事業継続を要望	道が広がってほしいので。	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
11	事業継続を要望	東名沼津ICへのアクセスとして、事業継続を要望したい	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
12	事業継続を要望	便利になる	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
13	事業継続を要望	いまさら。	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
14	事業継続を要望	長泉方面に行くのに便利になるから。	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
15	事業継続を要望	整備されれば、交通の便が良くなる。	本路線の整備により、交通の分散が図られ交通渋滞の緩和に寄与するとともに自転車歩行者道の設置による安全確保が図られることから、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
16	見直しを要望	・子供の通学路の安全確保が重要である。歩道新設や幅員を優先する。 ・夜になると県道が暗い(横断歩道が危ない)	既存の(主)三島裾野線の歩行者の安全確保要望を求めた意見と解釈する。当該事業では(主)三島裾野線の一部の歩道拡幅で終わるが、(主)三島裾野線は都市計画道路として位置づけられており、近隣住民が希望する歩道整備に早期着手できるよう、都市計画道路整備事業の推進に努める。

平成27年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 工業用水道改築事業

箇所名: 静岡工業用水道

照会者: 役員ユーザー全14社に聞き取りし13社から回答あり

担当課: 企業局事業課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・生産活動において、工業用水は重要であり、漏水事故により工業用水が断水すると、工場が操業停止となり、損害が大きい。よって、老朽化した管路の更新事業は必要である。	静岡工業用水は、静岡市の工業生産活動において、重要な産業インフラである。安定的な生産活動を今後も継続していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。
2	事業継続を要望	・生産活動等、工場の操業において、工業用水の安定供給は非常に重要であるため、老朽化した工業用水管路を更新することは絶対必要である。	静岡工業用水は、静岡市の工業生産活動において、重要な産業インフラである。安定的な生産活動を今後も継続していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。
3	事業継続を要望	・工業用水の安全、安定供給がなければ生産活動を維持できない。 ・地震など自然災害に耐え得る設備保全是必要である。	・静岡工業用水は、静岡市の工業生産活動において、重要な産業インフラである。安定的な生産活動を今後も継続していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。 ・昭和30年代の耐震性の無い管種の管路更新を行っている。これら、管種は東海地震が発生すれば、被災する可能性が非常に高いため、計画的に管路更新を実施し、管路の耐震化を図る。
4	事業継続を要望	・生産活動において、工業用水は最も重要であり、工場を安定的に操業するために、事業は必要である。また、漏水事故により工場が操業停止すると、多大な損害が発生するため、漏水事故が起きないように管路更新を行う事は重要である。	静岡工業用水は、静岡市の工業生産活動において、重要な産業インフラである。安定的な生産活動を今後も継続していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。
5	事業継続を要望	・工場の安全操業を確保する為には、信頼度の高い安定した水の供給が不可欠。 ・安定操業の確保の為には、安価な水の供給を望む。 ・地下水、河川に恵まれず、工業用水の他に代替候補が事実上ない。 ・送水の突然の停止は、事故・災害に繋がりがかねないと考えており、老朽化した配水管の計画的な更新による信頼性向上を望む。	・静岡工業用水は、静岡市の工業生産活動において、重要な産業インフラである。安定的な生産活動を今後も継続していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。 ・改築事業の実施により、工水料金へ極力影響が生じないように、管路のダウンサイジング等の建設費削減を図っている。 ・清水地区の臨海部においては、地下水の塩化が顕著に見られるため、工業用水道が唯一の生産活動に必要な「水」となっている。このため、工業用水道は非常に重要なため、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。
6	事業継続を要望	・24時間操業を実施している弊社の生産活動において、工業用水を安定的に供給頂く事は不可欠である。 ・突発の漏水事故が発生し、給水が停止されると生産停止や仕掛品不良など、甚大な被害に直結する。 ・管路更新計画の着実な実行を要望する。	静岡工業用水は、静岡市の工業生産活動において、重要な産業インフラである。安定的な生産活動を今後も継続していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。
7	事業継続を要望	・漏水事故が起きないように管路の増強を行うことは重要。	静岡工業用水は、静岡市の工業生産活動において、重要な産業インフラである。安定的な生産活動を今後も継続していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。
8	事業継続を要望	・当社生産活動において、工業用水は重要であるため、安定的な水の確保の観点から事業は必要である。 ・東海地震等の大規模地震に備え、管路更新は必要である。	静岡工業用水は、静岡市の工業生産活動において、重要な産業インフラである。安定的な生産活動を今後も継続していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。
9	事業継続を要望	・清水工場で生産をするにおいて、安倍川を水源とする工業用水は水質が良質で、水の使用は重要な位置を占めている事から事業は必要。 ・管路の破損による断水は、工場停止の事態に陥り、損失は非常に大きい。市水への対応は考えているが、経費アップのインパクトは大きい事から改修事業は必要とされる。	静岡工業用水は、年間を通じて水質が一定であり、全国的に見ても非常に良質な工業用水である。今後も、良質な工業用水を安定的に供給していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。
10	事業継続を要望	・生産活動において、工業用水は重要なインフラであり、安定的な水源確保の観点から、事業継続は必要である。 ・東海地震等の大規模災害に備え、管路更新は必要である。	・静岡工業用水は、静岡市の工業生産活動において、重要な産業インフラである。安定的な生産活動を今後も継続していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。 ・昭和30年代の耐震性の無い管種の管路更新を行っている。これら、管種は東海地震が発生すれば、被災する可能性が非常に高いため、計画的に管路更新を実施し、管路の耐震化を図る。
11	事業継続を要望	・当事業所において工業用水は重要な事から、量・質とも安定して供給して頂く為にも事業継続は必要。また、管路の老朽化による経年劣化の箇所も、かなり多いと思われるので漏水による損害が起きる前に、改善・更新を行って頂きたい。	静岡工業用水は、年間を通じて水質が一定であり、全国的に見ても非常に良質な工業用水である。今後も、良質な工業用水を安定的に供給していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。
12	事業継続を要望	・工業用水は、弊社生産活動には生命線とも言える重要なもの。安定的な水の確保を担保していただくためにも、当該事業は必要不可欠なものとする。	静岡工業用水は、静岡市の工業生産活動において、重要な産業インフラである。安定的な生産活動を今後も継続していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。
13	事業継続を要望	工業用水の継続的な使用のために改築事業は不可欠と考える。ただし、契約水量に対し使用水量が乖離しているため、料金制度「責任水量制」の見直しを要望する。	静岡工業用水は、静岡市の工業生産活動において、重要な産業インフラである。安定的な生産活動を今後も継続していくために、計画的な工業用水道の改築事業を推進する。また、料金制度については、今後、料金改定の協議の中で、ユーザーの皆様と検討していく。